

薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランの 成果と次期の展望

～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチの重要性～

今般、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、医療危機、社会経済的な危機が生じていますが、人と動物の共通感染症であることから、人と動物等の保健衛生の一体的な推進（“One Health”アプローチ）の必要性に社会的な関心が高まっています。

薬剤耐性(AMR)対策についても、“One Health”アプローチに基づき、医療、産業動物診療、小動物診療、農業生産、水産養殖、食品安全等、広範な分野で相互に情報提供等を行いつつ、それぞれの分野で有効な施策を講じていくことが不可欠です。

本連携シンポジウムは、このような社会的要請を踏まえ、薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016-2020」の取組みと今後の課題について検討した上で、医療、獣医療等の現場における薬剤耐性(AMR)対策の実践事例について紹介及び検討を行い、医療、獣医療等の関係分野における薬剤耐性(AMR)対策の一層効果的な推進に資することを目的として開催します。

開催日時：令和2年12月3日（木）13：00～17：00（予定）

開催形式：Webによる開催（リアルタイム配信及び動画配信）

<参加費：無料>

シンポジウムの申込み：<https://jvma-sympo.jp/12AMR-sympo.html>



第一部：「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン2016-2020」の 取組みと今後の課題

〔特別講演〕

- 1 医師側からの提言 渡邊治雄（国立感染症研究所名誉所員、黒住医学研究振興財団理事長）
- 2 獣医師側からの提言 田村 豊（酪農学園大学名誉教授）

主催：公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本獣医師会

第二部：医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の紹介

I 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の取組みなど

- ・医療分野：「開業医での抗菌薬適正使用の実践 ～グラム染色検査の活用～」
前田稔彦（まえだ耳鼻咽喉科クリニック）
 - ・医療分野：「AMR対策リファレンスセンターでの薬剤耐性菌対策の普及啓発（仮題）」
松永展明（国立国際医療研究センター）
 - ・獣医療分野：「グループシステム移行での生産性向上、事故率の低減、抗菌剤使用量の削減」
呉 克昌（(株)バリューファーム・コンサルティング）
 - ・獣医療分野：「病原菌と戦わない環境づくりで、生産性の向上、抗菌剤使用の削減」
高橋佐和子（高橋とんとん診療所）
 - ・獣医療分野：「愛玩動物における抗菌薬慎重使用の推進の取組」
松田真理（動物医薬品検査所）
- （講演の順序は変更することがあります。）

II 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の現状と対策

- ・国内の医療分野におけるAMR対策の現状と対策（厚生労働省）
- ・国内の獣医療分野におけるAMR対策の現状と対策（農林水産省）

後援：農林水産省 / 厚生労働省